

## 三菱電機株式会社製 空調用送風機 「平成28年版公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」との比較表

(平成28年版) 公共建築工事標準仕様書 第11節 送風機		公共仕様 当社該当形名	当社送風機								
1.11.1 遠心送風機	<p>(a) 本項は、多翼形送風機及び後向き羽根形送風機に適用する。</p> <p>(b) 多翼形送風機は、本項によるほか、JIS B 8331（多翼送風機）による。 なお、後向き羽根形送風機は、多翼形送風機の羽根車を後向き羽根に替えた構造とする。</p> <p>(c) 構成は、ケーシング、羽根車、主軸、軸受け、電動機等とし、Vベルト及びVブーリによるVベルト駆動形とする。ただし、小形の遠心送風機（呼び番号2未満）は、電動機直動形でもよい。</p> <p>(d) ケーシングは、溶接、リバット締め又は折込み加工により成形補強されたものとし、材質は、塗装又は防錆処理を施した鋼板（亜鉛鉄板等を含む。）とする。 なお、ケーシングの下部に水抜きを設ける場合は、特記による。</p> <p>(e) 羽根車の材質は、塗装若しくは防錆処理を施した鋼板（亜鉛鉄板等を含む。）又はアルミニウム材とする。</p> <p>(f) Vベルト駆動形の場合、軸受けは、潤滑油の補充ができる構造（シール軸受及びシールド軸受は除く。）とし、主軸の材質は、JIS G 4051（機械構造用炭素鋼鋼材）のS30C以上のものとする。</p> <p>(g) Vベルト駆動形の場合は、危険防止用のベルトガードを設ける。</p> <p>(h) 電動機は、第2編1.2.1「電動機」による。ただし、電動機直動形の場合は製造者の標準仕様とする。</p> <p>(i) 付属品は、次による。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">一式</td> </tr> <tr> <td>(ロ) 鋼製共通ベッド（必要な場合）</td> <td style="text-align: right;">1組</td> </tr> <tr> <td>(ハ) 吸込口金網（必要な場合）</td> <td style="text-align: right;">1組</td> </tr> <tr> <td>(ニ) 銘板</td> <td style="text-align: right;">一式</td> </tr> </table>	(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）	一式	(ロ) 鋼製共通ベッド（必要な場合）	1組	(ハ) 吸込口金網（必要な場合）	1組	(ニ) 銘板	一式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BF-□ (16~28形が該当する)</li> </ul>	左記当該事項の仕様、性能に合致する。
(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）	一式										
(ロ) 鋼製共通ベッド（必要な場合）	1組										
(ハ) 吸込口金網（必要な場合）	1組										
(ニ) 銘板	一式										
1.11.2 軸流送風機 及び 斜流送風機	<p>(a) 構成は、ケーシング、羽根車、主軸、軸受け、電動機等とし、Vベルト駆動形又は電動機直動形とする。</p> <p>(b) ケーシング、羽根車、主軸、軸受けは、1.11.1「遠心送風機」の当該事項による。 なお、斜流送風機の羽根車の材質は、合成樹脂としてもよい。</p> <p>(c) Vベルト駆動形の場合は、危険防止用のベルトガードを設ける。</p> <p>(d) 電動機は、第2編1.2.1「電動機」による。ただし、電動機直動形の場合は製造者の標準仕様とする。</p> <p>(e) 付属品は、次による。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">一式</td> </tr> <tr> <td>(ロ) 電源用端子台  なお、斜流送風機は、電源用コード（約1m）としてもよい。</td> <td style="text-align: right;">一式</td> </tr> <tr> <td>(ハ) 銘板</td> <td style="text-align: right;">一式</td> </tr> </table>	(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）	一式	(ロ) 電源用端子台  なお、斜流送風機は、電源用コード（約1m）としてもよい。	一式	(ハ) 銘板	一式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JE-15S3</li> <li>・JF-□ (30~550形が該当する)</li> <li>・JFU-□ (200~550形が該当する)</li> </ul>	左記当該事項の仕様、性能に合致する。		
(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）	一式										
(ロ) 電源用端子台  なお、斜流送風機は、電源用コード（約1m）としてもよい。	一式										
(ハ) 銘板	一式										
1.11.3 消音ボックス付 送風機	<p>(a) 消音ボックス付送風機は、1.11.1「遠心送風機」による小形の遠心送風機（呼び番号2未満）又は1.11.2「軸流送風機及び斜流送風機」による斜流送風機（呼び番号3以下）を消音ボックスに納めた構造とする。 なお、遠心送風機の羽根車の材質は、合成樹脂としてもよい。</p> <p>(b) 消音ボックスは、外装に消音内貼りを施した箱形又は円筒形とする。</p> <p>(c) 外装は、内部の点検が可能な構造とし、材質は、厚さ0.8mm以上の塗装又は防錆処理を施した鋼板（亜鉛鉄板等を含む。）とする。</p> <p>(d) 消音内貼りは、JIS A 6301（吸音材料）のグラスウール吸音ボード（40K厚さ25mm）又は同等以上の吸音性能を有する材料を、ガラス繊維等の飛散防止処理を施し、鋲、座金、接着剤等で貼付けたものとする。</p> <p>(e) 電動機は、製造者の標準仕様とする。ただし、電動機直動形の場合、極数は4極以上とする。</p> <p>(f) 付属品は、次による。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">一式</td> </tr> <tr> <td>(ロ) 電源用端子台又は電源用コード（約1m）</td> <td style="text-align: right;">一式</td> </tr> <tr> <td>(ハ) 銘板</td> <td style="text-align: right;">一式</td> </tr> </table>	(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）	一式	(ロ) 電源用端子台又は電源用コード（約1m）	一式	(ハ) 銘板	一式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BFS-□SC、TC -□SG、TG (50~210形が該当する)</li> <li>・BFS-240TA</li> <li>・BFS-□SUC、TUC -□SUG、TUG (15~210形が該当する)</li> <li>・BFS-240TUA、450TUA</li> <li>・BFS-□SY (50~150形が該当する)</li> <li>・JFU-□ (30~150形が該当する)</li> </ul>	左記当該事項の仕様、性能に合致する。		
(イ) 相フランジ（フランジ接続の場合に限る。）	一式										
(ロ) 電源用端子台又は電源用コード（約1m）	一式										
(ハ) 銘板	一式										